



## JAMCA ニュース

No.81

2014年4月1日

発行  
協会事務局  
編集事務局全国自動車大学校・整備専門学校協会  
〒160-0015 東京都新宿区大京町31  
ヴィップ新宿御苑 ☎03-3356-7066  
〒125-0002 東京都葛飾区西亀有3-28-3  
☎03-3601-2535 FAX 03-3601-2988  
ホームページアドレス <http://www.jamca.jp/>

## 今後の自動車整備行政

## 国土交通省自動車局整備課長 江坂 行弘

近年、自動車は、より高い環境・安全性能や快適性が求められる中、構造装置のエレクトロニクス化に加えて、ハイブリッド車や電気自動車等の次世代自動車が登場・普及しつつあります。また、衝突被害軽減ブレーキをはじめとする先進安全装置の急速な普及が見られます。

これらの自動車の進化や変化に対応して、優れた性能を維持するためには、整備技術についても高度化を図り適切な点検整備を行うことが求められています。具体的には、故障を診断し必要な整備を効果的に行える汎用型のスキャンツールの普及促進や、これを活用する整備要員の技能向上等の人材育成が必要とされており、このため、昨年9月にとりまとめられた「自動車整備技術の高度化検討会」の報告書を踏まえ、現在、整備部門におけるIT化、ネットワーク化や整備要員の人材育成等、今後解決すべき課題について検討を進めているところです。また、昨年11月にはスキャンツールについて、未保有の事業者を対象とした購入補助を受けました。こうした取組みを通じて、整備業界の技術的基盤の強化を図ってまいりたいと考えています。

整備の現場では、高度な整備技術への対応だけでなく、自動車ユーザーの方々に整備内容や適切な保守管理方法をわかりやすくアドバイスできる人材の必要性が高まっています。高



度な知識と技能を有し、整備技術の高度化において中心的な役割を担う存在であると位置付けられている一級自動車整備士は、このような現場のハード・ソフトの両面からのニーズ対応の柱として期待されています。

一級自動車整備士の合格者数は、平成14年度の試験開始以来、昨年12月末で10,499名を数えており、全国自動車大学校・整備専門学校協会の会員校におかれましては、一級整備士課程の入学者が、課程創設以来、増加の傾向にあります。これは協会として、高等学校への働きかけや、自動車整備士の魅力を積極的にPRし、関心を高める取り組みを行っていただけることによるものであり、敬意を表する次第です。

一方、少子化や若者のクルマ離れの進展等により、自動車整備士を目指す若者が減少しており、近い将来、整備業界における人材不足が顕在化するとの懸念が高まっています。こう

した状況の中、いかに若者のクルマへの関心を高め、自動車整備士を志望する人材を多く集め、高度な技術の習得に導いて行くかについて、関係者の知見やアイデアを結集し実行する時が来ていると思います。

国土交通省といたしましても、今後、自動車整備士は、くるま社会の安全・安心を支える必要不可欠な基盤的存在であることについて、若年者をはじめとして国民各層の理解を深め、整備部門における人材の確保・育成という重要課題に貴協会をはじめ関係各位のご協力をいただきながら取り組んでいきたいと考えております。

全国自動車大学校・整備専門学校協会の皆様におかれましては、今後も引き続き自動車整備士の一層の整備技術レベルの向上に努められ、くるま社会から必要とされる多くの優秀な自動車整備士を輩出していただくとともに、今後産学官の協力体制の下で推進する人材の確保・育成に向けた取り組みにおいて、これまでの教育活動の中で蓄積された知見の共有をはじめ、主要な役割を果たしていただけることを期待するものであります。

## CONTENTS

2面	自動車整備士不足への対応
3面	我が校自慢
4面・5面	カウンセリングの必要性
6面	協会トピックス
7面	活躍!! 卒業生・地区通信
8面	私の教材活用・お知らせ・編集後記